

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 3 回 学校規模学校配置適正化検討委員会
開 催 日 時	平成 2 3 年 9 月 2 7 日 (火) 1 3 時 3 0 分～
開 催 場 所	小川総合支所 大会議室
出 席 者	<p>【出席委員】 水本徳明 山口良元 中川稔 小林義治 矢口忠衛 星野広幸 福田智彦 小仁所浩 西村浩一 邊見亜津子 中島淨 沼田マサ 竹内昌信</p> <p>【欠席委員】 野村武勝 中村強 立原幸子 鈴木美樹 飯島利武</p> <p>【教育委員】 中村三喜 鶴町庄二 沼田新 澤畠照子 沼田和美</p> <p>【事務局】 小松修也 戸塚俊宏 成井修也 海老澤光志 佐々木浩 菅谷清美 吉田江梨子</p>
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小美玉市の基本方針案の検討協議 ・ その他
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)

協議の内容

【協議】

(1) 小美玉市の基本方針案の検討協議

委員長

前回まで、基本方針の中に盛りこむべき内容を検討してきた。子どもの教育環境をより良くしていくことを念頭に基本方針を作成したい。前回までにご意見をいただいた自己肯定感を持てる環境、より良い読書環境等をしっかりと方針の中に盛りこんでいきたいと考えている。前回の会議では、今後の児童生徒数の推移を知りたいというご意見があったので、いくつかの資料を用意した。今日はこれらの資料をもとに検討をしていきたい。基本方針では、具体的に学校名を挙げてどこの学校をどうするというようなことは書かずに、基本的な考え方を示すが、今日はその基本を考えるために学校名も出した資料を用意した。

事務局

＜児童生徒数の推移データ（資料1）の説明＞

平成20年度からの実績値と平成29年度までの見込値を載せてある。全体的に減少で推移している。上吉影小学校は35%の減少。竹原小学校も30%弱の減少。全体では、10%弱の減少幅である。中学校でも小学校と同等の減少幅を示している。

＜小美玉市立小学校入学予定者数（資料2）の説明＞

これは平成23年9月1日現在の住民基本台帳をもとに算出している。ほとんどの学校で減少傾向だが、羽鳥小は住宅地の造成等により増加傾向にある。玉里東小の平成29年度の入学予定者は2名である。

＜小美玉市立学校就学区域位置図（資料3）の説明＞

各小学校区を示した地図である。青い線で囲まれているのは、各小学校における学区の範囲となる。

＜小美玉市立学校就学区域位置図（資料4）の説明＞

各小学校を中心に通学距離半径4kmを示した地図である。

委員長

4kmというのは小学生の通学距離の標準である。

資料を見て、質問等あるか。

【質問なし】

委員長

基本方針の中に委員会の考え方を示していかなければならない。

規模（学級数、児童生徒数等）、配置、通学区域の区割り等を入れた基本方針を年内には出したい。今までと今日を踏まえて次回は素案を示したい。そして、次回は素案を検討したい。

今日は、出席されている委員さん全員に意見を伺いたい。

委員	<p>スクールバスを出すなど行政が何らかの対応をすれば、通学区域を広げることができると思う。</p> <p>児童生徒数の推移を見ると、大幅には変わらない。よって、今まで問題がなかったのだから統廃合を考えなくてもよいのではないか、という話になりかねない。</p>
委員	<p>問題がないというのには疑問がある。</p> <p>統合という方向にもっていくのがよいと思う。</p>
委員長	<p>子どもたちの教育をより良いものにしていくという方面からの意見もいただきたい。</p>
委員	<p>住民の方に統合しないでくれと言われたことがある。理由を尋ねると、昔からの地域を維持していきたいということであった。統廃合にはいろいろな考え方があっていいのだなと感じた。しかし、この意見は子どもを中心とした考え方ではない。</p> <p>全国を見ると、統廃合が進んでいる。そのような趨勢にきたと感じている。統合にはデメリットばかりではなく、施設や設備の充実が図れる等のメリットもある。(例えば、3つの学校でかかるお金を1つの学校だけに投資できるので、よりいいものをつくることができる。) 統合の方向でいくべきだと思っている。反面、問題がないのだからこのままでもいいのではないかという気持ちもある。</p> <p>一番の問題は1クラスの人数である。何を根拠に〇人とするのか。</p>
委員	<p>最低2クラスはほしい。人数は30人程度がよいのではないか。</p> <p>自分の子どもは現在1クラス38人の学級に在籍しているが、クラスでいじめが発生した。授業中も落ち着かずにざわざわしているようである。38人という大人数だからではないか。</p>
委員長	<p>スーパーマンのような先生だけを集めることは現実的に不可能である。大学を卒業したばかりの教員もいればベテランの教員もいる。そういう中でもどの子どもも落ち着いて授業が受けられるような状態にするには、どのような環境にしていかなければならないかを考えていく必要がある。いじめがあってもクラス替えができない状況をどのように考えていけばよいのか。</p>
委員	<p>教員の数を減らさないで、条件を良くするためには通学区域を見直すのが一番だと思うが、旧町村を越えて区域を編成してしまうと問題が起きたという事例も見られるので、うまくいく地域とそうでない地域が出てくるのではないかという感想をもった。</p> <p>また、先ほどいじめがあったという話があったが、1クラスのままではいじめはなくなるのか。</p>
委員長	<p>クラス替えがないといじめはなくせないのか、という趣旨の質問だが校長先生たちどうか。</p>

委員	複数クラスあった方が選択肢は増える。
委員	環境を変えることでのびのびできる子どももいる。クラス替えができる規模にするほうがよいと思う。
委員長	環境を変えないといじめが解決できない，その観点で考えた時に，クラス替えができる規模というのをどの程度重視して考えていくかということだと思う。
委員	小さい学校の良さとして，行事への参加率が高い，保護者の協力体制ができていなどたくさんある。ただ，子どものことを考えると切磋琢磨して学びあえるよう数が多いほうがよいのではないかという思いが強くなってきた。 統合した際には，地域の協力体制が不安である。
委員長	市町村合併での市民感情もあるので，機械的な数のみの操作ではいけないと思う。そのような事情もこの委員会では大切に扱わなければならない。
委員	教育は理想を求めてよいもの。よって，この委員会は理想を求めるべき場であろう。現実とは一歩引いて考えていいと思う。理想でよいので数値的なものを掲げるべきだと考えている。小学校 2 クラス以上，中学校 3 クラス以上，クラスの人数は 35 人定員くらいが妥当である。そういった目安を示すべきであろう。この委員会はここまでを決めて，後は踏み込むべきではないのではないか。
委員	どの地区を見ても統合が始まっているので，統合はしかたない。統合にあたっては，スクールバスの検討，通学路の整備等が大事である。
委員長	適正化により様々なことを考慮していかなければならない。安全がなければ保護者や地域住民には受け入れてもらえないので，適正化に伴う環境整備も重要である。
委員	小美玉市立学校就学区域位置図（資料 4）を見て，美野里地区はバランスが良いと思った。一方，玉里地区はほとんどが重なっている。つまり，地区によって統合が必要な所と必要でない所が出てくる。吸収や統合ではなく，新しい学校をつくるという発想で進めていくことが大事であると思う。また，旧町村を生かした上で統廃合を進めていけたらと思う。玉里小は平成 29 年度までに激減という感じがある。規模が小さすぎると他校と勝負することができない感がある。子どもたちの覇気にも影響してくる。
委員長	規模が小さすぎると，やりたくてもやれないことが出てくる。
委員	30～35 人がよいと思う。この委員会では基準を示していく。
委員	知徳体のバランスのとれた子どもの育成を考えた時に，1 クラス 20～30 人が適正かなと思う。35 人では多い。20 人いないと総合的な力は育めないのかなと個人的には思う。クラス数については，あま

委員

りこだわる必要はないと思うが、2クラスはほしい。
統合は必要だと思う。平成29年の玉里東小の入学者が2人という数を見れば統合ということが目の前に迫っている。統合という形ではなくて、新しい学校をつくるという発想で進めてほしいと思う。

委員

「安心」という面で、定年後の先生など予算がいないボランティアの方を教育ボランティア、子どもの良き相談相手として学校に配置できないか。
また、障害のあるような子どもを早期に発見し、対応できる組織作りをしていただきたい。

委員長

今日いただいたご意見として、

- ・より良い学校づくり
- ・1クラス20～30人
- ・1学年2～3クラス
- ・施設、設備の充実
- ・旧町村をこえるのは難しい
- ・住民の感情を大事にする。

これらを踏まえて、次回は素案を示したい。

委員

新しい学校には小中一貫もあるのか。

委員長

書き入れた方が良く思っている。

委員

旧町村を越えないと明記してしまうと、弾力的な対応ができなくなるので、明記しないほうがよいと思う。

委員長

通学区域については現在でも弾力性があるので、その弾力性が保たれるように留意したいと思う。

15:10 閉会